

【建築基準法】 接合部

建物名 伏図次郎【2階】

柱頭柱脚金物算定表（1階柱）

柱頭柱脚金物算定表（2階柱）

使用金物一覧

柱頭柱脚金物算定平面図

柱頭柱脚金物算定立面図

■注意事項

- 平成12年建設省告示第1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」第二号のただし書きにより接合金物を求める方法に準拠した計算を行います。
- N値計算において、1階の柱のN値について、その真上の2階柱の金物のN値が大きい場合、1階柱の金物は2階の柱の金物同等以上としています。
- 倍率の異なる耐力壁が直交して取り付く場合は、平面におけるX方向とY方向を区分してそれぞれ必要となる金物を選択し、耐力の大きい方の金物を採用します。
- 2階柱の下に柱が無い場合については、以下のいずれかの方法を選択して計算を行うことができます。
 - 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
 - 1階の両側の柱が2階柱の引抜力を負担するものとして計算する。
- 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物(金物が(に)以上の場合)について、以下のいずれかの方法を選択して計算することができます。
 - 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる
 - 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえない
- 接合部金物は設計者が任意に登録することが可能です。
- 利用者におかれましては、公的な認定や性能試験を受けているものであること、また性能試験時の構造体の条件等が合致する場合においてのみお使い下さい。

株式会社インテグラルー級建築士事務所

〒305-0818

茨城県つくば市学園南2丁目7番地

TEL:029-850-3331 FAX:029-850-3334

<https://www.homeskun.com/>

注意事項



ホームズ君「構造EX」(以下、本ソフトウェア)は、公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施している「木造建築物電算プログラム認定」において、関係法令や評価方法基準に準拠しているとして、認定書(認定番号:P04-02)の交付を受けております。
認定対象の計算書・図面には用紙右上に「木造建築物電算プログラム認定」の認定番号が印字されます。

【認定の範囲】

本ソフトウェアの認定の範囲を下表にて示します。本ソフトウェアの全機能が認定対象ではありませんのでご注意ください。本ソフトウェアの利用者、並びに本ソフトウェアの計算結果を確認する立場の方は、認定の範囲を十分理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

▼本ソフトウェアの全機能における認定の範囲

●: 認定対象 -: 認定対象外

分類	認定範囲	機能	関係法令等
建築基準法	●	壁量計算	建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項
	●	壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	-	シックハウス	
住宅性能表示 構造の安定	●	性能表示壁量計算	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ①
	●	床倍率	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ②③
	●	壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	●	接合部(通し柱、外周横架材)	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ④
	●	横架材のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
	●	基礎のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
住宅性能表示 その他	-	火災時の安全	
	-	劣化の軽減	
	-	維持管理	
	-	温熱環境	
	-	空気環境	
	-	光・視環境	
	-	音環境	
	-	高齢者	
その他機能	-	防犯	
	-	伏図作成機能	
	●	梁せい算定機能	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
	-	等級ナビ	
	-	3D地震被害想定	
-	構造安全性チェック		

【木造建築物電算プログラム認定とは】

公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施しているプログラム認定制度です。
目的は、木造建築物電算プログラムに係る認定を行うことを通じて、木造建築物の品質性能および生産性の向上に寄与し、もって木造建築物の関連産業の発展と国民生活の向上に貢献することとなっています。
認定にあたっては、学識経験者で構成する「木造建築物電算プログラム認定委員会」が設置され電算プログラムの適切さ(根拠図書との準拠性、プログラム処理の妥当性、誤用防止策等)や運用の適切さ(メンテナンスや苦情処理体制等)について審査が行われます。

注意事項



P04-02

【建築基準法の計算上の注意点】

- ・ 建築基準法の各判定（建築基準法壁量計算、偏心率、四分割法、柱頭柱脚接合部、筋かい接合部）を行う際の条件や注意点については、各帳票の表紙に注意事項として明記しています。
- ・ 建築基準法の各判定を行う際の耐力壁の壁倍率の扱いは以下の通りです。
○建築基準法壁量計算：上限5.0倍（合計値） ○偏心率 : 上限7.0倍（合計値）
○四分割法 : 上限5.0倍（合計値） ○柱頭柱脚接合部：上限7.0倍（合計値）
- ・ 建築基準法壁量計算においては設計者が任意に耐力壁を追加することができます。追加した耐力壁は帳票『存在壁量明細表』において国土交通大臣の認定番号が明記されるので確認ください。
- ・ 柱頭柱脚接合部および筋かい接合部判定においては、設計者が任意に接合金物を追加することができます。追加した接合金物は『使用金物一覧』において、木造建築物用接合金物認定などの認定番号が明記されるので確認ください。

柱頭柱脚金物算定表

(1階柱)

日付: 2023年07月31日 11:59:29

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱	方向	1階						2階						L	N	接合金物	
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2	B2	柱頭			柱脚	
1	X	下屋/出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8							0.4	0.80	(は)	(は)	
	Y		2.0 \ 0.0	-0.5	1.5									0.80			
2	X	下屋/他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5							0.6	-0.10	(い)	(い)	
3	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8	1.6	0.35	#(は)	#(は)	
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8		0.35			
4	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	2	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	-0.35	#(ろ)	#(ろ)	
5	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85	(い)	(い)	
6	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	4	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)	
7	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	5	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.10	#(ろ)	#(ろ)	
8	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
9	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85	#(ろ)	#(ろ)	
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	7	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5		-0.10			
10	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
11	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	8	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)	
12	X	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	9	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	1.0	1.40	(に)	(に)	
	Y	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	9	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8		1.40			
13	Y	下屋/他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)	
15	Y	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	10	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.15	(ろ)	(ろ)	
16	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
18	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	11	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)	
20	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	17	他柱(下)	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
22	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85	(い)	(い)	
23	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
24	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85	(い)	(い)	
25	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	16	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	1.6	0.15	(ろ)	(ろ)	
27	Y	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	18	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.85	#(ろ)	#(ろ)	
30	Y	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	17	他柱(上)	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	-0.35	#(は)	#(は)	
31	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	21	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
32	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
33	X	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5							1.6	-1.60	(い)	(い)	
34	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5								-0.85			
35	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	27	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.10	#(ろ)	#(ろ)	
36	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	28	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)	
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	28	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5		0.40			
37	Y	下屋/他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)	
39	Y	下屋/他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)	
40	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	29	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
41	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35	(い)	(い)	
42	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	30	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
43	Y	下屋/出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8							0.4	0.80	(は)	(は)	
44	X	下屋/他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)	
45	X	下屋/他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5							0.6	0.15	(ろ)	(ろ)	
	Y		0.0 / 2.0	-0.5	1.5									0.15			
46	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	33	他柱(下)	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40	(ろ)	(ろ)	
47	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	34	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)	
49	X	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	35	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8	1.0	2.20	(と)	(と)	

■記号の説明

- ・「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付け場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」… ()表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」… #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引抜き力を土台・基礎に伝達するため)
※は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

■計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
- ・同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ※ただし、金物が(に)以上の場合

柱頭柱脚金物算定表 (1階柱)

日付: 2023年07月31日 11:59:29

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱	方向	1階					2階					L	N	接合金物		
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2			B2	柱頭	柱脚
	Y	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8	35	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8		2.20		
50	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	36	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40	(ろ)	(ろ)
51	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	37	他柱(左)	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)
52	X	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5							1.6	-1.60	(い)	(い)
53	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	40	他柱(右)	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.90	(は)	(は)
54	X	出隅	0.0 0.0	0.0	0.0	0.8	40	他柱(左)	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.0	0.25	(に)	(に)
	Y	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8	41	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8		1.40		

■記号の説明

- ・「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付く場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付きを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」… () 表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」… #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達する必要があるため)
※は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

■計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
- ・同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ※ただし、金物が(に)以上の場合

柱頭柱脚金物算定表 (2階柱)

日付: 2023年07月31日 11:59:29

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

柱	方向	柱状況	パターン	補正値	A1	B1	L	N	接合金物	
									柱頭	柱脚
1	X	出隅	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.8	0.4	0.80	(は)	(は)
	Y		2.0 \ 0.0	-0.5	1.5			0.80		
2	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
4	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
5	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
7	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
8	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
9	X	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	0.4	0.80	(は)	※(に)
	Y		2.0 \ 0.0	-0.5	1.5			0.80		
10	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
11	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
16	Y	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	0.6	-0.10	(い)	(い)
17	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
18	Y	他柱	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
20	Y	出隅	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.8	0.4	0.80	(は)	(は)
21	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
27	X	他柱	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
28	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
	Y		2.0 / 0.0	0.5	2.5			0.65		
29	Y	他柱	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
30	Y	他柱	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
33	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
34	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
35	X	出隅	0.0 2.0	-0.5	1.5	0.8	0.4	0.80	(ほ)	※(と)
	Y		0.0 \ 2.0	0.5	2.5			1.60		
36	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
37	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
38	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15	(ろ)	(ろ)
40	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
41	X	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	0.4	0.80	(は)	※(に)
	Y		0.0 2.0	-0.5	1.5			0.80		

■記号の説明

- 「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付け場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
△は、その方向の引抜力を負担する1階柱が存在しないことを表しています。
- 「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- 「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- 「2階 柱状況」… () 表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- 「接合金物(柱頭・柱脚)」… #は1階柱の金物をよりN値の大きい2階柱の金物に合わせたことを表しています。
(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達する必要があるため)
※は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。
(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
*は設計者により編集された金物を表しています。(自動設定された金物以上の金物を選択)

■計算条件

- 2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。
- 同位置の1階柱頭と2階柱脚の金物をそろえる。 ※ただし、金物が(に)以上の場合

使用金物一覧

日付: 2023年07月31日 11:59:29

建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

■ 柱頭柱脚接合部金物

N値	告示表三	金物名	略称	注意事項(認定番号)	金物数量(箇所)		
					1階	2階	合計
0	(い)	短ほぞ差し及びかすがい打ち	カスガイ		44	32	76
~0.65	(ろ)	長ほぞ差し込み栓又はかど金物CP-L	CP-L		36	40	76
~1.0	(は)	山形プレートVP又はかど金物CP-T	VP		22	6	28
~1.4	(に)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリュー釘なし)	SB-F2		4	2	6
~1.6	(ほ)	羽子板ボルト又は短冊金物(スクリュー釘あり)	SB-F		0	1	1
~1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物	HD-B10		0	0	0
~2.8	(と)	15kN引き寄せ金物	HD-B15		2	1	3
~3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物	HD-B20		0	0	0
~4.7	(り)	25kN引き寄せ金物	HD-B25		0	0	0
~5.6	(ぬ)	15kN引き寄せ金物×2	HD-B15×2		0	0	0
5.6超	(一)		N>5.6		0	0	0

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

■ 筋かい接合部金物

筋かい種類	接合部記号	金物名	金物数量(個)
筋かい(45×90)	SS6	筋かいプレート(BP-2)	86

・筋かいがシングルの場合は金物数量は「2」、ダブルの場合は金物数量は「4」とカウントされます。

・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

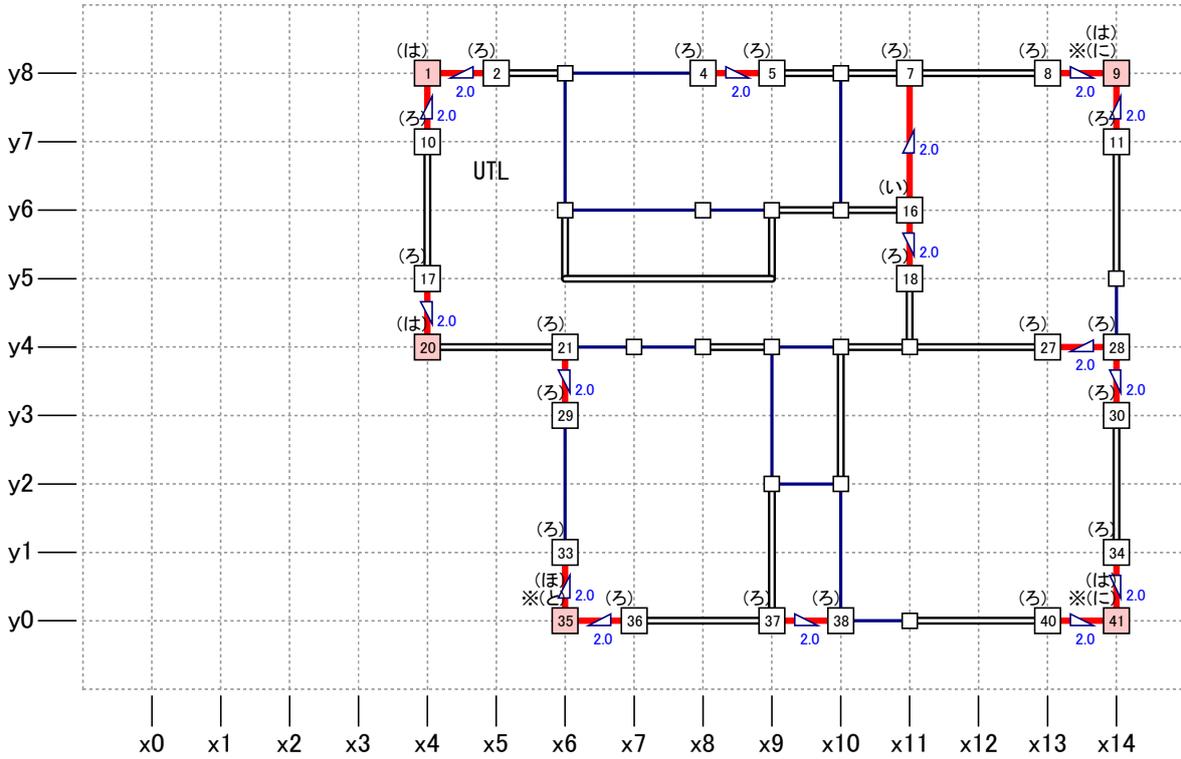
柱頭柱脚金物算定平面図

日付: 2023年07月31日 11:59:29

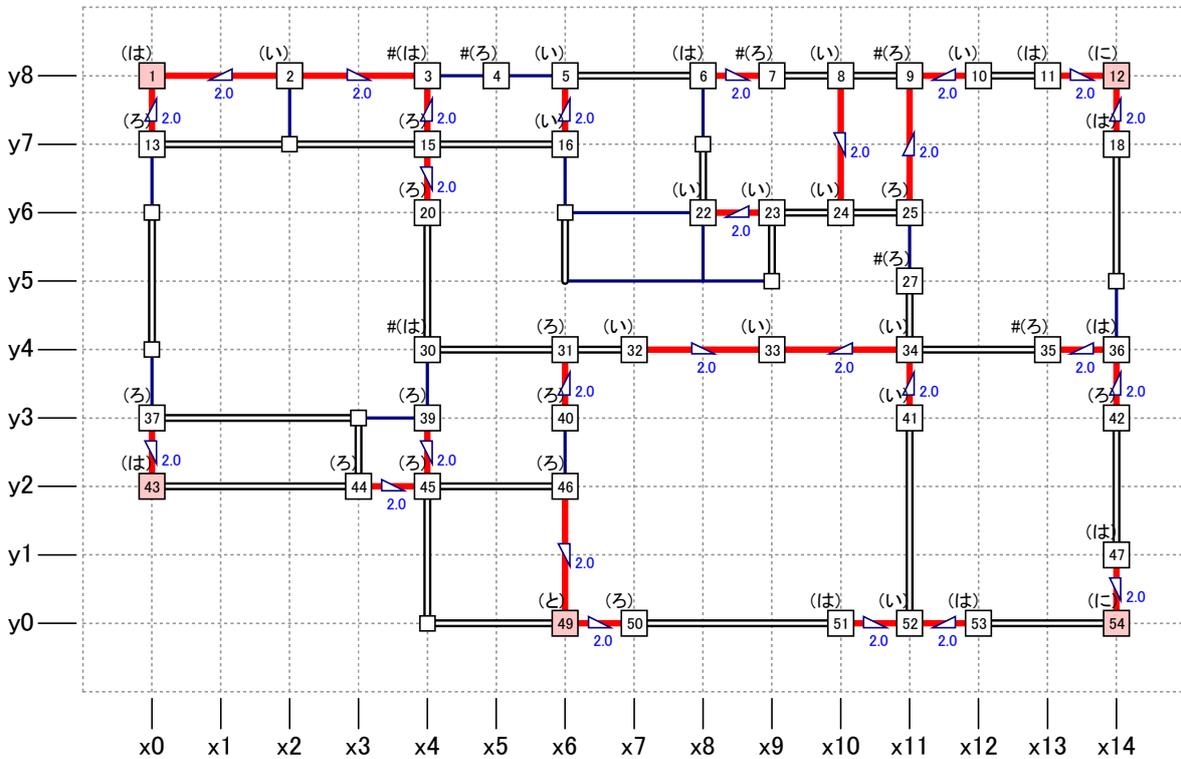
建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

2階



1階



縮尺 1/100

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 ※印の金物は2階柱脚を1階柱頭に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引抜き力を土台・基礎に伝達するため)

- | | | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|---------------|--------------------|
| 凡例 | — 一般壁 | — 開口部 | [n] 検討柱 | □ 検討外柱 | ※検討外柱は(い)の金物を使用する。 |
| | — 面材耐力壁 | — 大臣認定耐力壁 | △ 筋かいダブル | 柱頭 柱脚 筋かいシングル | ■ 出隅柱 |
| (い) かがい | (ろ) CP-L | (は) VP | (に) SB-F2 | (ほ) SB-F | (へ) HD-B10 |
| (-) N>5.6 | | | | (と) HD-B15 | (ち) HD-B20 |
| | | | | (り) HD-B25 | (ぬ) HD-B15 × 2 |

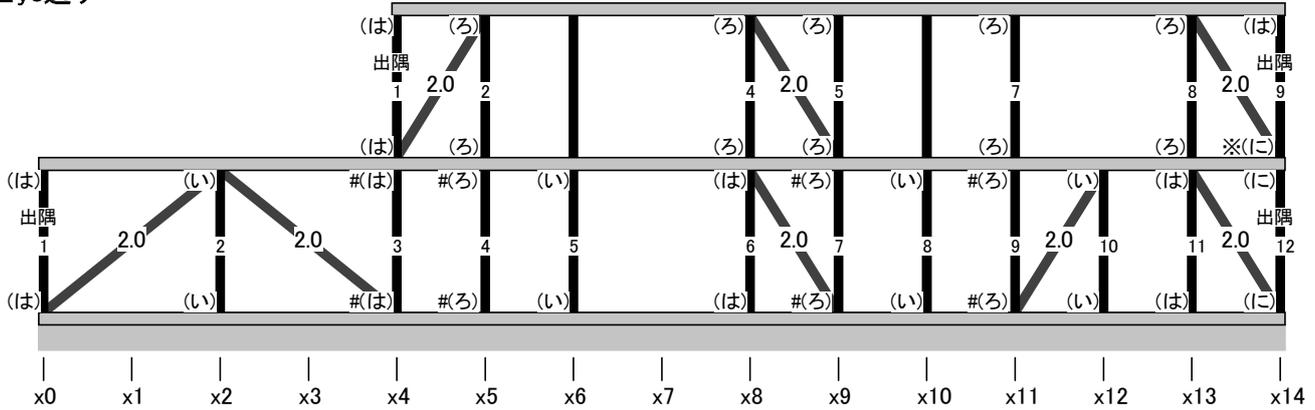
柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2023年07月31日 11:59:29

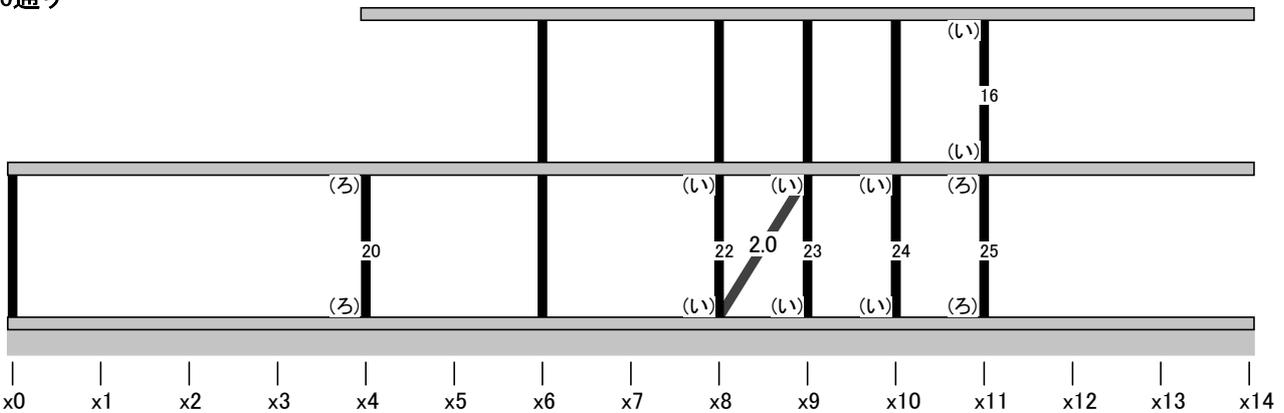
建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

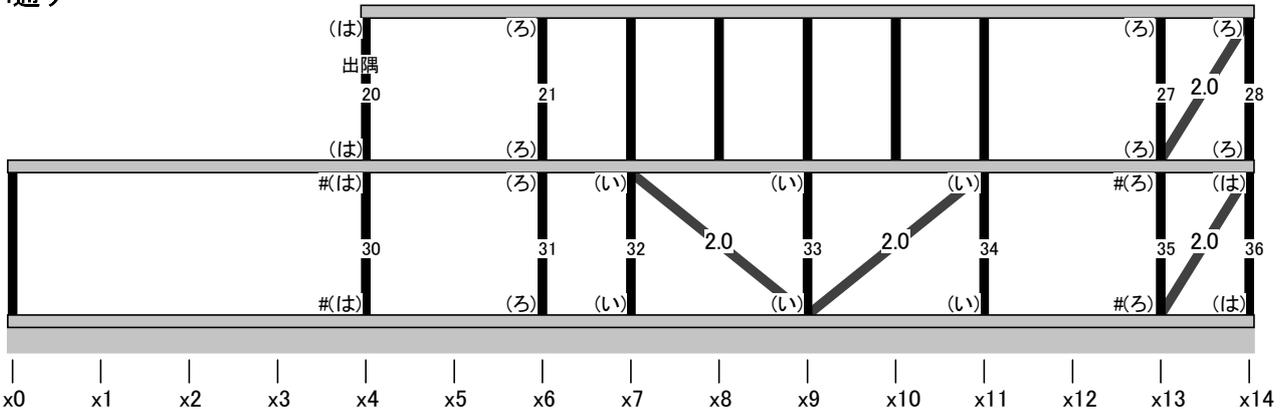
■y8通り



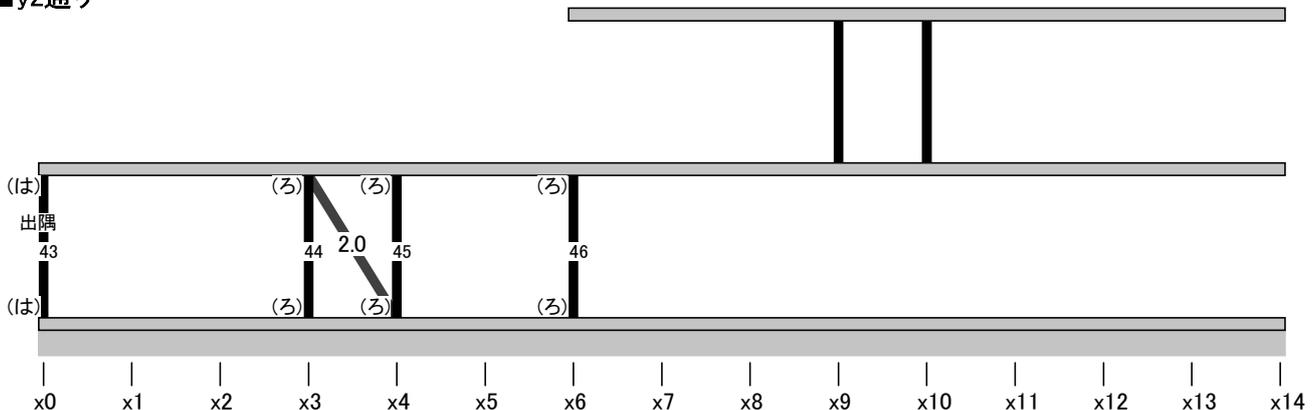
■y6通り



■y4通り



■y2通り



凡例

(い) カガ I (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15
 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15 × 2 (―) N>5.6

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)

※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)

#印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

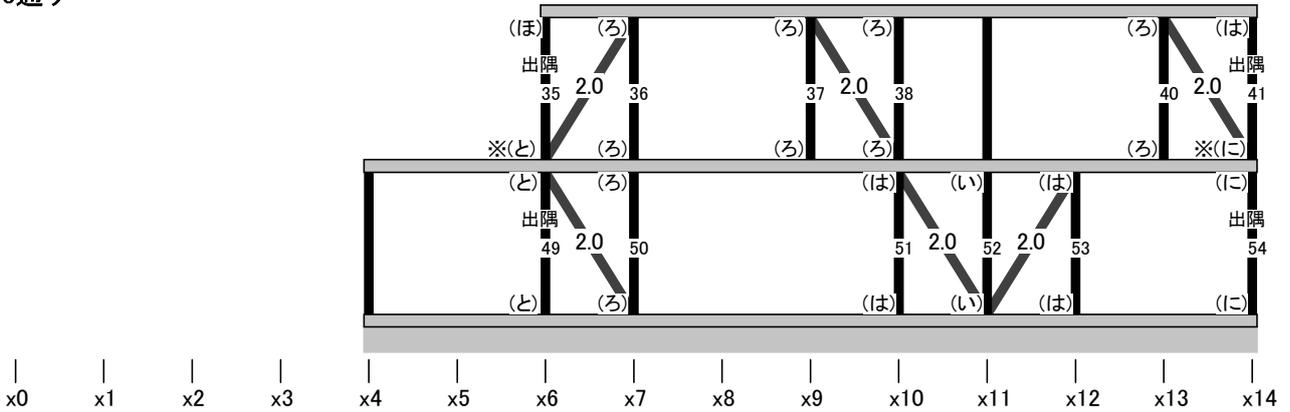
柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2023年07月31日 11:59:29

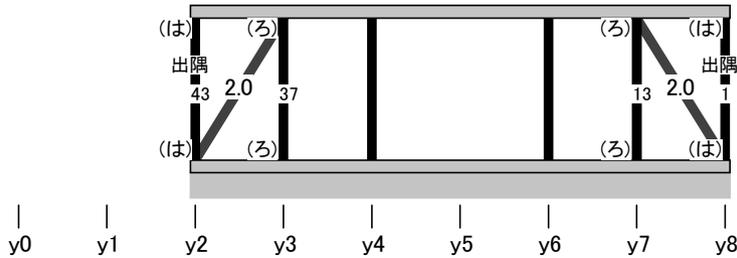
建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

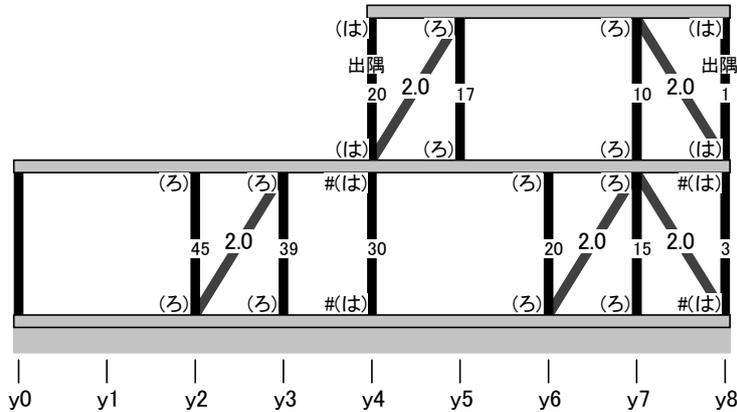
■y0通り



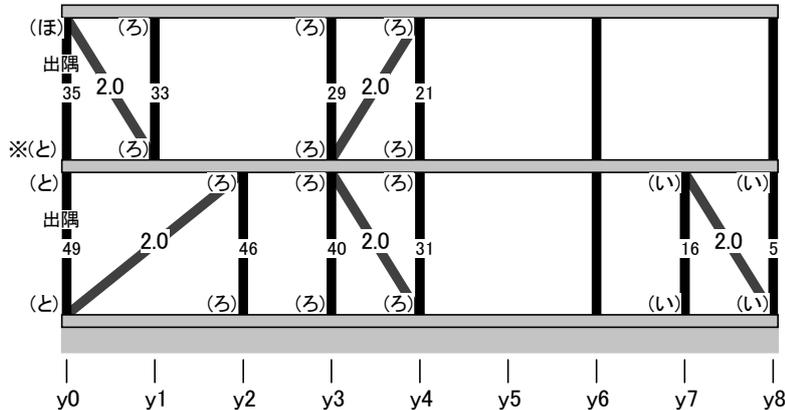
■x0通り



■x4通り



■x6通り



凡例 (い) カガ^イ (ろ) CP-L (は) VP (に) SB-F2 (ほ) SB-F (へ) HD-B10 (と) HD-B15
 (ち) HD-B20 (り) HD-B25 (ぬ) HD-B15×2 (ー) N>5.6

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)
 ※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 #印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

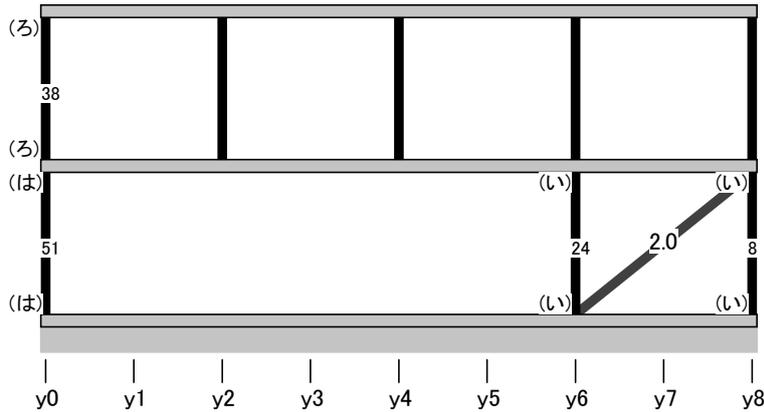
柱頭柱脚金物算定立面図

日付: 2023年07月31日 11:59:29

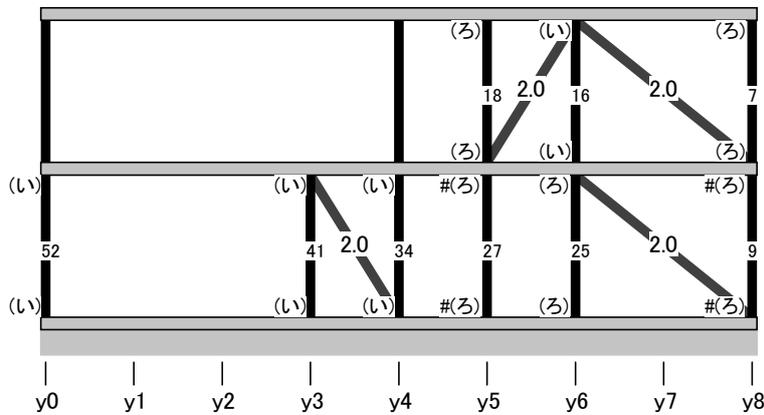
建物コード: 000003

建物名: 伏図次郎【2階】

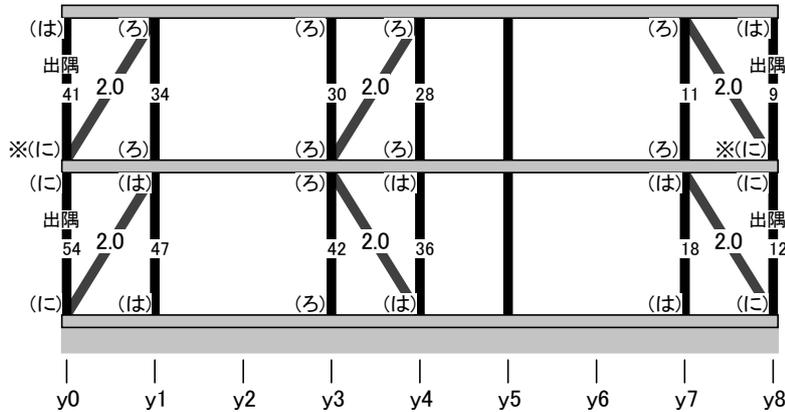
■x10通り



■x11通り



■x14通り



凡例

- (い) カガ^イ
- (ろ) CP-L
- (は) VP
- (に) SB-F2
- (ほ) SB-F
- (へ) HD-B10
- (と) HD-B15
- (ち) HD-B20
- (り) HD-B25
- (ぬ) HD-B15 × 2
- (ー) N>5.6

*印の金物は設計者により編集された金物を示す。(自動設定された金物以上の金物を選択)

※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)

#印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

【建築基準法】接合部（金物工法）

建物名 伏図次郎【2階】金物工法

N値計算

柱頭柱脚接合部 引張の検定

柱頭柱脚接合部 引張とせん断の複合応力の検定

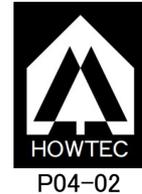
使用金物一覧

柱頭柱脚接合部 平面図・立面図

株式会社インテグラルー級建築士事務所

〒305-0818
茨城県つくば市学園南2丁目7番地
TEL:029-850-3331 FAX:029-850-3334
<https://www.homeskun.com/>

注意事項



ホームズ君「構造EX」(以下、本ソフトウェア)は、公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施している「木造建築物電算プログラム認定」において、関係法令や評価方法基準に準拠しているとして、認定書(認定番号:P04-02)の交付を受けております。
認定対象の計算書・図面には用紙右上に「木造建築物電算プログラム認定」の認定番号が印字されます。

【認定の範囲】

本ソフトウェアの認定の範囲を下表にて示します。本ソフトウェアの全機能が認定対象ではありませんのでご注意ください。本ソフトウェアの利用者、並びに本ソフトウェアの計算結果を確認する立場の方は、認定の範囲を十分理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

▼本ソフトウェアの全機能における認定の範囲

●: 認定対象 -: 認定対象外

分類	認定範囲	機能	関係法令等
建築基準法	●	壁量計算	建築基準法施行令第46条「構造耐力上必要な軸組等」第4項
	●	壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	-	シックハウス	
住宅性能表示 構造の安定	●	性能表示壁量計算	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ①
	●	床倍率	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ②③
	●	壁の配置(偏心率)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	壁の配置(四分割法)	平12建告1352号「木造建築物の軸組の設置の基準を定める件」
	●	接合部(筋かい、柱頭柱脚)	平12建告1460号「木造の継手及び仕口の構造方法を求める件」
	●	接合部(通し柱、外周横架材)	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ④
	●	横架材のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
	●	基礎のチェック	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
住宅性能表示 その他	-	火災時の安全	
	-	劣化の軽減	
	-	維持管理	
	-	温熱環境	
	-	空気環境	
	-	光・視環境	
	-	音環境	
	-	高齢者	
その他機能	-	防犯	
	-	伏図作成機能	
	●	梁せい算定機能	平13国告第1347号「評価方法基準」第5 1-1(3)ホ、1-2(3)ホ、1-4(3)ホ
	-	等級ナビ	
	-	3D地震被害想定	
-	構造安全性チェック		

【木造建築物電算プログラム認定とは】

公益財団法人日本住宅・木材技術センターが実施しているプログラム認定制度です。
目的は、木造建築物電算プログラムに係る認定を行うことを通じて、木造建築物の品質性能および生産性の向上に寄与し、もって木造建築物の関連産業の発展と国民生活の向上に貢献することとなっています。
認定にあたっては、学識経験者で構成する「木造建築物電算プログラム認定委員会」が設置され電算プログラムの適切さ(根拠図書との準拠性、プログラム処理の妥当性、誤用防止策等)や運用の適切さ(メンテナンスや苦情処理体制等)について審査が行われます。

注意事項



P04-02

【建築基準法の計算上の注意点】

- ・ 建築基準法の各判定（建築基準法壁量計算、偏心率、四分割法、柱頭柱脚接合部、筋かい接合部）を行う際の条件や注意点については、各帳票の表紙に注意事項として明記しています。
- ・ 建築基準法の各判定を行う際の耐力壁の壁倍率の扱いは以下の通りです。
○建築基準法壁量計算：上限5.0倍（合計値） ○偏心率 : 上限7.0倍（合計値）
○四分割法 : 上限5.0倍（合計値） ○柱頭柱脚接合部：上限7.0倍（合計値）
- ・ 建築基準法壁量計算においては設計者が任意に耐力壁を追加することができます。追加した耐力壁は帳票『存在壁量明細表』において国土交通大臣の認定番号が明記されるので確認ください。
- ・ 柱頭柱脚接合部および筋かい接合部判定においては、設計者が任意に接合金物を追加することができます。

N値計算 (1階柱)

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

柱	方向	1階					2階					L	N	
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2			B2
1	X	下屋/出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8							0.4	0.80
	Y		2.0 \ 0.0	-0.5	1.5									0.80
2	X	下屋/他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65
3	Y	下屋/他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65
4	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	1	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	1.6	0.40
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1	出隅	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.8		1.15
5	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	2	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.85
6	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35
7	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	4	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40
	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5								-0.35
8	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	5	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40
9	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85
10	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5								-0.85
11	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85
12	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	8	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40
13	X	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	9	出隅	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.8	1.0	2.20
	Y	出隅	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.8	9	出隅	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.8		2.20
14	Y	下屋/他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5							0.6	-0.10
15	Y	下屋/他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							0.6	0.15
16	Y	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	10	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.35
17	Y	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5							1.6	-1.60
18	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85
19	Y	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5							1.6	-1.10
20	Y	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5							1.6	-1.10
21	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	11	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40
22	Y	下屋/他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							0.6	0.15
23	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	17	他柱(下)	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.10
24	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35
25	X	他柱	0.0 × 4.0	0.0	4.0	0.5							1.6	0.40
26	X	他柱	4.0 × 0.0	0.0	4.0	0.5							1.6	0.40
27	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85
28	Y	他柱	2.0 / / 2.0	0.5	0.5	0.5							1.6	-1.35
31	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							1.6	-0.85
32	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	19	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40
33	Y	下屋/他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5							0.6	0.15
34	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	20	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	1.6	1.65
35	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	21	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	-0.35
	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5								-0.35
36	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	22	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5	1.6	-0.35
37	X	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5	23	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	-0.35
38	X	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	24	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.35
39	X	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5	25	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	1.6	-0.35
40	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35
	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5								-0.85
41	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	27	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	-0.35
42	X	他柱	0.0 0.0	0.0	0.0	0.5	28	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.85
	Y	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	28	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5		-1.10
43	Y	下屋/他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5							0.6	-0.10
44	X	下屋/他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65
45	X	下屋/他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5							0.6	0.15
	Y		2.0 \ / 2.0	0.0	0.0									-0.60

■記号の説明

- ・「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付く場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階柱状況」… ()表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。

■計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。

N値計算 (1階柱)

日付: 2023年07月31日 15:45:12
 建物コード: 000004
 建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

柱	方向	1階					2階					L	N	
		柱状況	パターン	補正値	A1	B1	柱	柱状況	パターン	補正値	A2			B2
46	Y	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5							1.6	-1.60
47	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5							1.6	-0.35
48	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	30	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40
49	Y	下屋 / 出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8							0.4	0.80
50	X	下屋 / 他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5							0.6	0.15
51	X	下屋 / 他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5							0.6	0.65
	Y		0.0 \ 2.0	0.5	2.5									0.65
52	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	33	他柱(下)	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40
53	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	34	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40
55	X	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8	35	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	1.0	2.20
	Y	出隅	0.0 0.0	0.0	0.0	0.8	35	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8		1.00
56	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	36	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	0.40
57	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	38	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	1.6	0.40
58	X	他柱	2.0 / \ 2.0	1.0	1.0	0.5	39	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.35
59	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	40	他柱(右)	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	1.6	-0.10
60	X	出隅	0.0 0.0	0.0	0.0	0.8	41	出隅	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.8	1.0	1.00
	Y	出隅	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.8	41	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8		2.20

■記号の説明

- ・「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付く場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付きを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」… ()表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。

■計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。

N値計算 (2階柱)

日付: 2023年07月31日 15:45:12
 建物コード: 000004
 建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

柱	方向	柱状況	パターン	補正値	A1	B1	L	N
1	X	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.60
	Y		2.0 / 0.0	0.5	2.5			1.60
2	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
4	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
5	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
8	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
9	X	出隅	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.60
	Y		2.0 / 0.0	0.5	2.5			1.60
10	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
11	Y	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
17	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
19	Y	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
20	Y	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.60
21	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
22	X	他柱	2.0 \ / 2.0	0.0	0.0	0.5	0.6	-0.60
23	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
24	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
25	X	他柱	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
27	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
28	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
	Y		2.0 \ / 2.0	0.0	0.0			-0.60
30	Y	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
33	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
34	Y	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
35	X	出隅	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.60
	Y		0.0 \ 2.0	0.5	2.5			1.60
36	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
38	X	他柱	0.0 \ 2.0	0.5	2.5	0.5	0.6	0.65
39	X	他柱	2.0 \ 0.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
40	X	他柱	0.0 / 2.0	-0.5	1.5	0.5	0.6	0.15
41	X	出隅	2.0 / 0.0	0.5	2.5	0.8	0.4	1.60
	Y		0.0 \ 2.0	0.5	2.5			1.60

■記号の説明

- ・「方向」… 柱に斜め方向の耐力壁が取り付け場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
 Δ は、その方向の引抜力を負担する1階柱が存在しないことを表しています。
- ・「パターン」… 柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」… #は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階 柱状況」… ()表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。

■計算条件

- ・2階柱の下に柱がない場合の計算方法 → 1m以内の範囲にある1階柱が下にあるものとして計算する。

柱頭柱脚接合部 引張の検定

日付: 2023年07月31日 15:45:12

建物コード: 000004

建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

階数 (階高)	柱 番号	最大N値	引抜力 T(kN)	柱頭接合部仕様	短期許容 引張耐力 Ta(kN)	検定比	検定結果
				柱脚接合部仕様			
2階 (2.800m)	1	1.60	8.79	柱接合部無し	-	-	-
				柱脚接合部無し	-	-	-
	2	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	3	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	4	0.65	3.57	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK
	5	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	6	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	7	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	8	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	9	1.60	8.79	柱接合部無し	-	-	-
				柱脚接合部無し	-	-	-
	10	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	11	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	12	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	13	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	14	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	15	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
ホゾパイプ(長さ118mm)				8.90	0.00	OK	
16	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
17	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK	
18	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
19	0.65	3.57	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
20	1.60	8.79	柱接合部無し	-	-	-	
			柱脚接合部無し	-	-	-	
21	0.65	3.57	柱接合部無し	-	-	-	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
22	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
23	0.65	3.57	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
24	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK	
25	0.65	3.57	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
26	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	
27	0.65	3.57	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK	
28	0.15	0.83	柱接合部無し	-	-	-	
			ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK	
29	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK	

最大N値: N値計算で求められた各柱のN値の最大値(0未満の場合は0とする)

 $T = \text{最大N値} \times \text{階高} \times 1.96$ 検定比 = $T \div Ta$ (検定比1.0以下で検定OK)

柱頭柱脚接合部 引張の検定

日付: 2023年07月31日 15:45:12

建物コード: 000004

建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

階数 (階高)	柱 番号	最大N値	引抜力 T(kN)	柱頭接合部仕様	短期許容 引張耐力 Ta(kN)	検定比	検定結果
				柱脚接合部仕様			
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	30	0.65	3.57	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK
	31	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	32	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	33	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	34	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	35	1.60	8.79	柱接合部無し	-	-	-
				柱接合部無し	-	-	-
	36	0.15	0.83	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	37	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	38	0.65	3.57	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.41	OK
	39	0.15	0.83	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	40	0.15	0.83	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	41	1.60	8.79	柱接合部無し	-	-	-
				柱接合部無し	-	-	-
1階 (2.900m)	1	0.80	4.55	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.52	OK
	2	0.65	3.70	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
	3	0.65	3.70	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
	4	1.15	6.54	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.74	OK
	5	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	6	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	7	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	8	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	9	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	10	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	11	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	12	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	13	2.20	12.51	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(ドリフトピン4本 長さ178mm)	22.30	0.57	OK
	14	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	15	0.15	0.86	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	16	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK

最大N値: N値計算で求められた各柱のN値の最大値(0未満の場合は0とする)

T = 最大N値 × 階高 × 1.96

検定比 = T ÷ Ta (検定比1.0以下で検定OK)

柱頭柱脚接合部 引張の検定

日付: 2023年07月31日 15:45:12

建物コード: 000004

建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

階数 (階高)	柱 番号	最大N値	引抜力 T(kN)	柱頭接合部仕様	短期許容 引張耐力 Ta(kN)	検定比	検定結果
				柱脚接合部仕様			
	17	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	18	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	19	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	20	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	21	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	22	0.15	0.86	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	23	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	24	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	25	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	26	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	27	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	28	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	29	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	30	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	31	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	32	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	33	0.15	0.86	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	34	1.65	9.38	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(ドリフトピン2本 長さ178mm)	11.20	0.84	OK
	35	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	36	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	37	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	38	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	39	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	40	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	41	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	42	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	43	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	44	0.65	3.70	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
	45	0.15	0.86	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK

最大N値: N値計算で求められた各柱のN値の最大値(0未満の場合は0とする)

T = 最大N値 × 階高 × 1.96

検定比 = T ÷ Ta (検定比1.0以下で検定OK)

柱頭柱脚接合部 引張の検定

日付: 2023年07月31日 15:45:12

建物コード: 000004

建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

階数 (階高)	柱 番号	最大N値	引抜力 T(kN)	柱頭接合部仕様	短期許容 引張耐力 Ta(kN)	検定比	検定結果
				柱脚接合部仕様			
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	46	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	47	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	48	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	49	0.80	4.55	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.52	OK
	50	0.15	0.86	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.10	OK
	51	0.65	3.70	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.42	OK
	52	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	53	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	54	0.00	0.00	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	55	2.20	12.51	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(ドリフトピン4本 長さ178mm)	22.30	0.57	OK
	56	0.40	2.28	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	57	0.40	2.28	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.26	OK
	58	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	59	0.00	0.00	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
				ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	0.00	OK
	60	2.20	12.51	柱接合部無し	-	-	-
				ホゾパイプ(ドリフトピン4本 長さ178mm)	22.30	0.57	OK

最大N値: N値計算で求められた各柱のN値の最大値(0未満の場合は0とする)

T = 最大N値 × 階高 × 1.96

検定比 = T ÷ Ta (検定比1.0以下で検定OK)

柱頭柱脚接合部 引張とせん断の複合応力の検定

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

※本建築物には検定対象(以下の全てに該当する箇所)が存在しない。

- ・せん断力と引張力の伝達が独立でない柱頭柱脚接合部
- ・柱に筋かいが取り付け、かつ面材耐力壁が取り付けかない
- ・筋かい接合部が横架材に緊結されていない

使用金物一覧

日付: 2023年07月31日 15:45:12

建物コード: 000004

建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■ 柱頭柱脚接合部金物

記号	金物名	短期許容 引張耐力 (kN)	短期許容 せん断耐力 (kN)	金物数量(箇所)		
				1階	2階	合計
C14	ホゾパイプ(長さ118mm)	8.90	6.60	100	64	164
C15	ホゾパイプ(ドリフトピン2本 長さ178mm)	11.20	6.60	1	0	1
C16	ホゾパイプ(ドリフトピン4本 長さ178mm)	22.30	6.60	3	0	3

※短期許容せん断耐力は金物工法の金物のみ値を持ちます。

■ 筋かい接合部金物

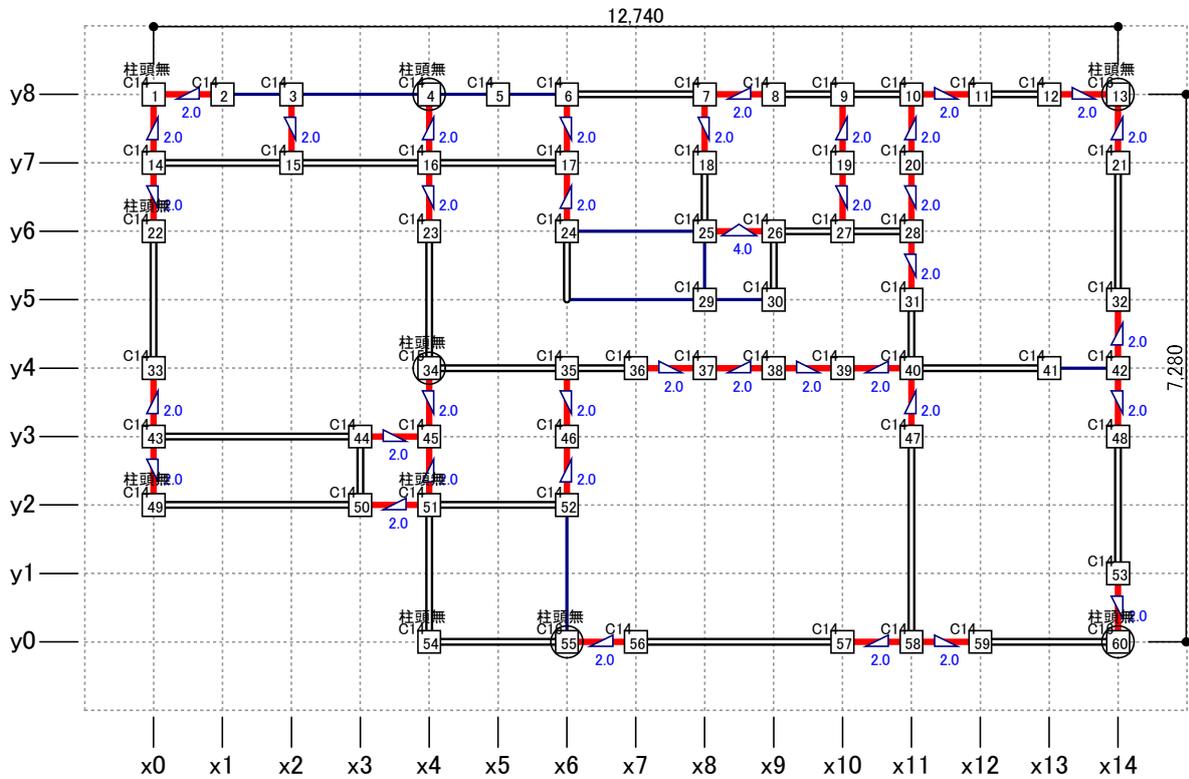
筋かい種類	接合部 記号	金物名	金物数量 (個)
筋かい(45×90)	SS6	筋かいプレート(BP-2)	112

- ・筋かいがシングルの場合は金物数量は「2」、ダブルの場合は金物数量は「4」とカウントされます。
- ・設計者が任意に追加、編集した金物の行は網掛け(□)で表示されます。

柱頭柱脚接合部 平面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
 建物コード: 000004
 建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

1階



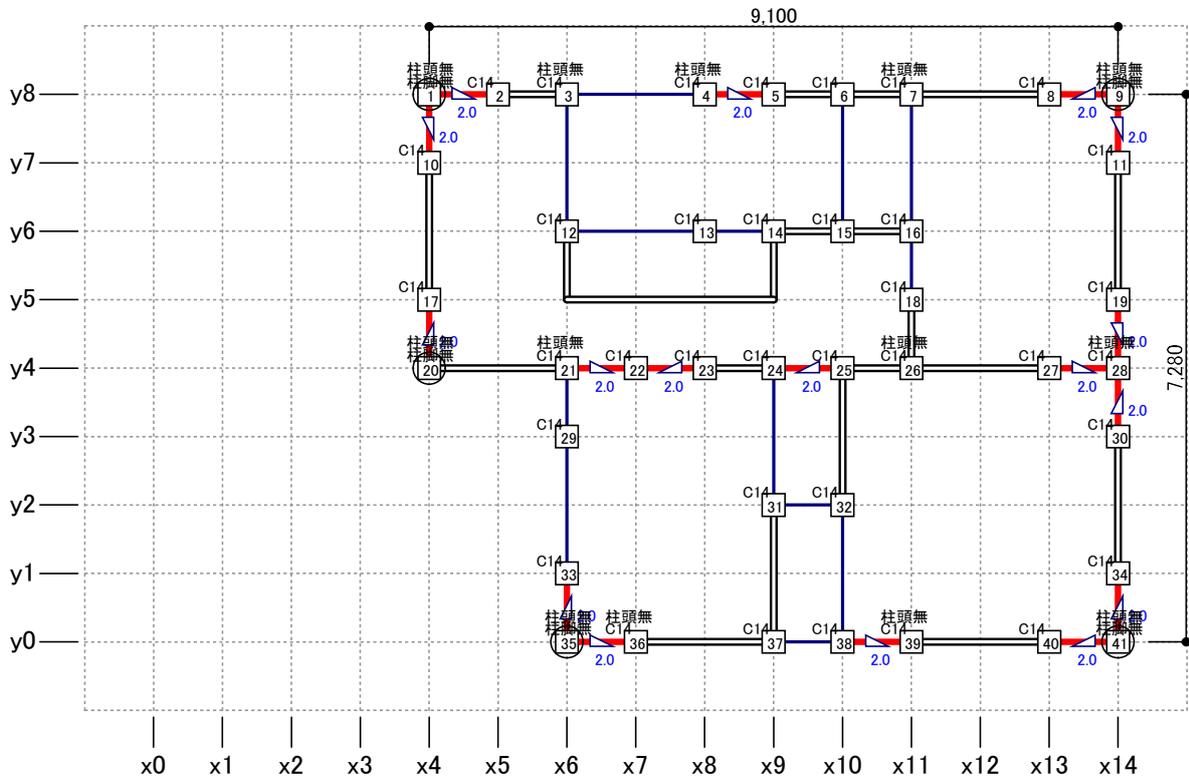
縮尺 1/100

- 凡例
- 一般壁
 - 開口部
 - 柱
 - ⊕ 通し柱
 - 面材耐力壁
 - △ 筋かいダブル
 - △ 柱頭
 - △ 柱脚
 - △ 筋かいシングル
 - C5
 - C9
- 仕様記号(柱頭、柱脚で異なる場合は2段に表示)

柱頭柱脚接合部 平面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
 建物コード: 000004
 建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

2階



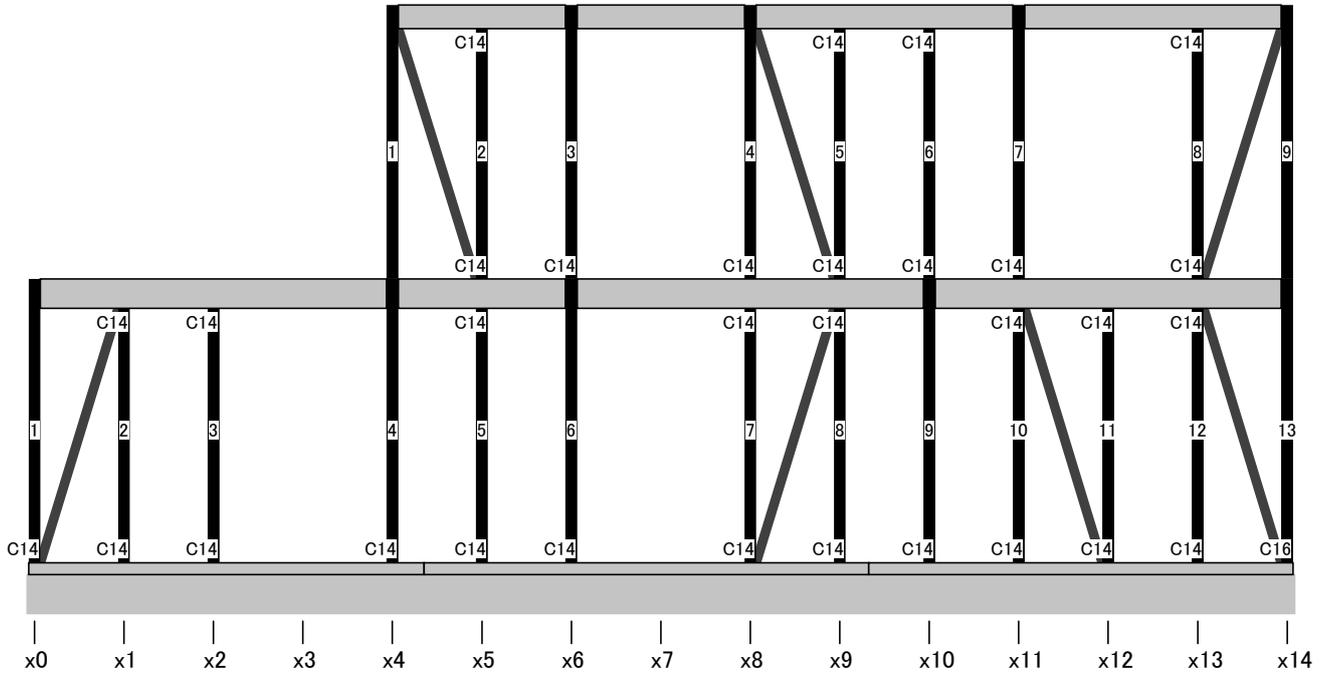
縮尺 1/100

- | | | | |
|----------------------------------|-----------|------|-------|
| — 一般壁 | — 開口部 | □ 柱 | ⊕ 通し柱 |
| — 面材耐力壁 | △ 筋かいダブル | △ 柱頭 | △ 柱脚 |
| C5
C9 仕様記号(柱頭、柱脚で異なる場合は2段に表示) | △ 筋かいシングル | | |

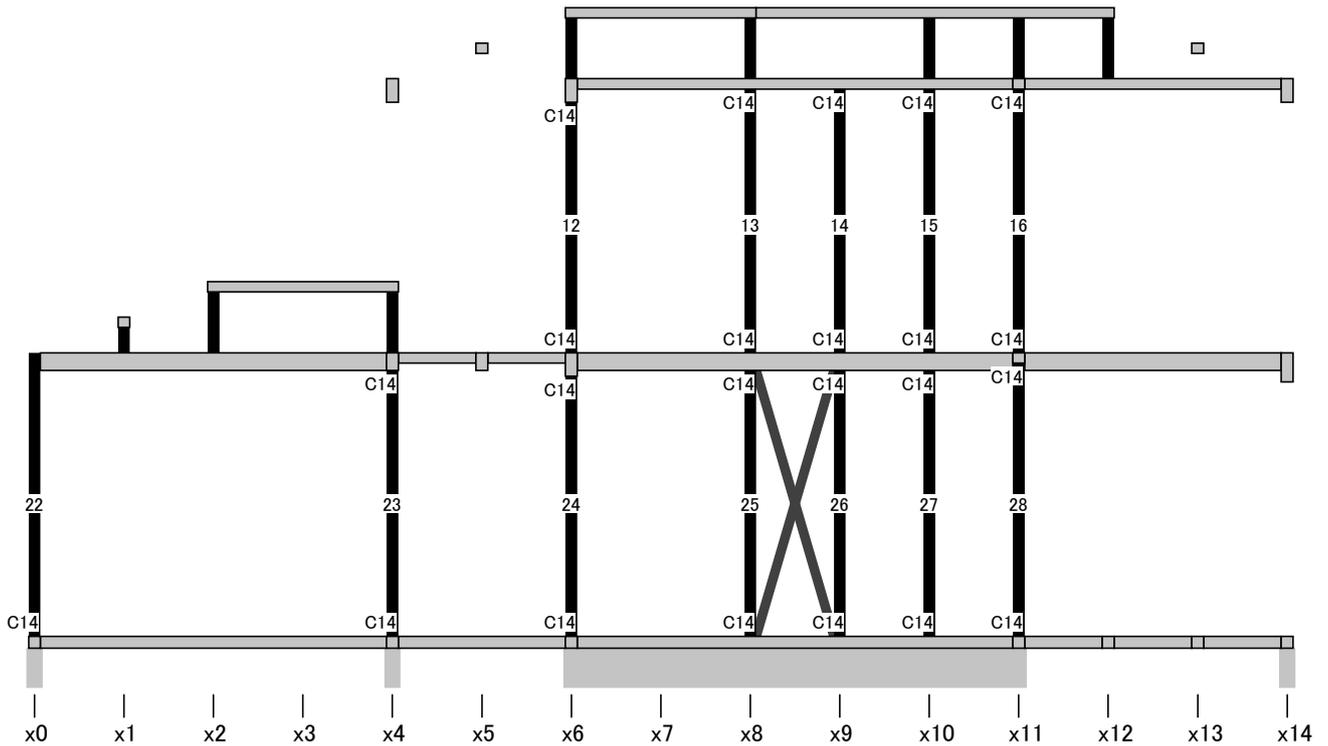
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■y8通り



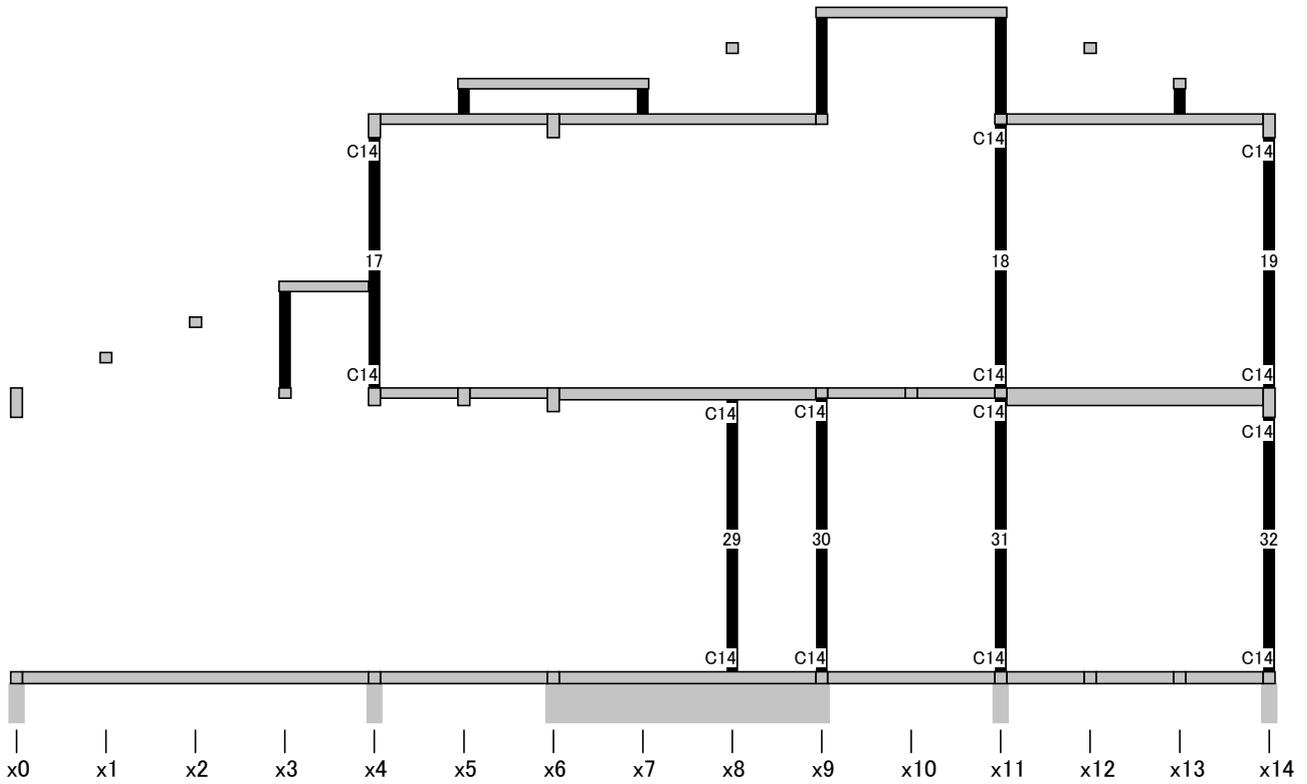
■y6通り



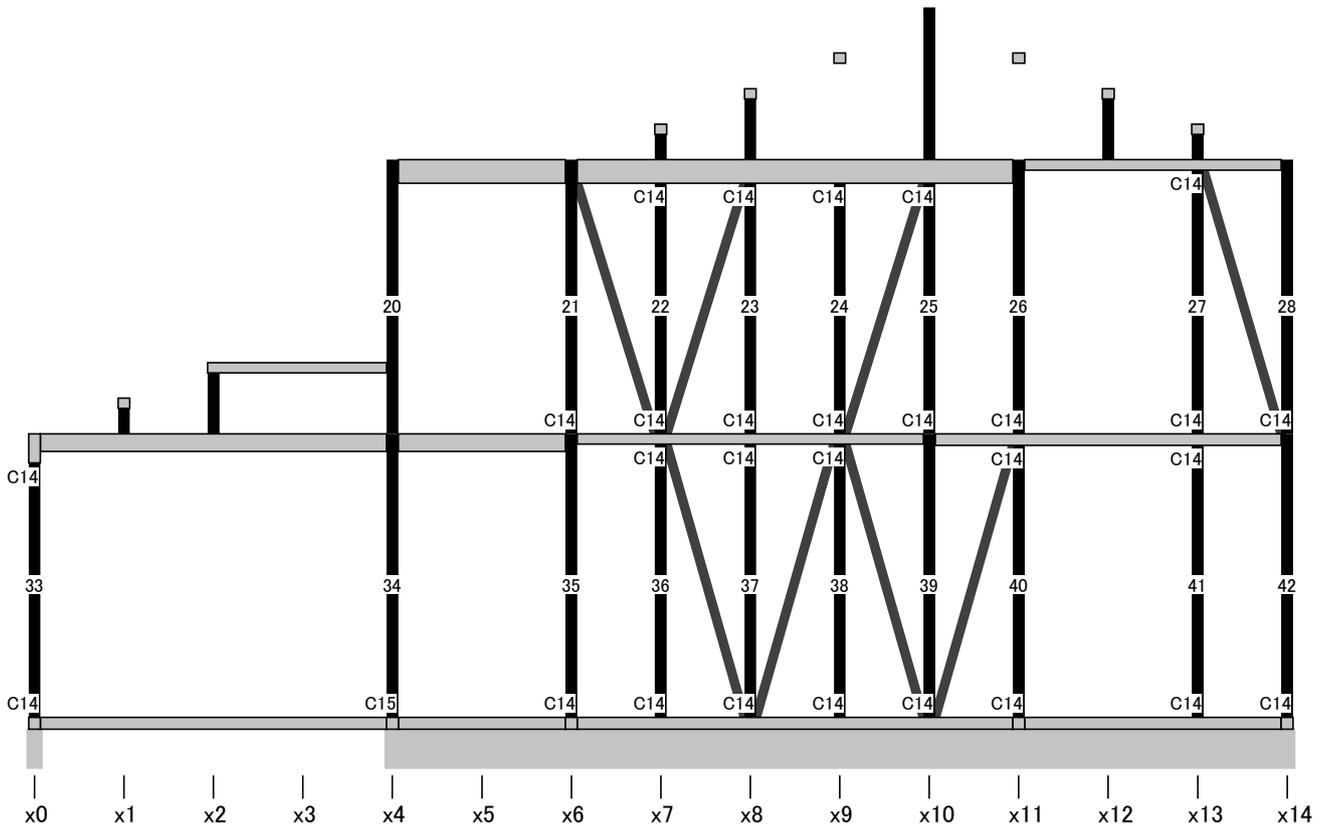
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■y5通り



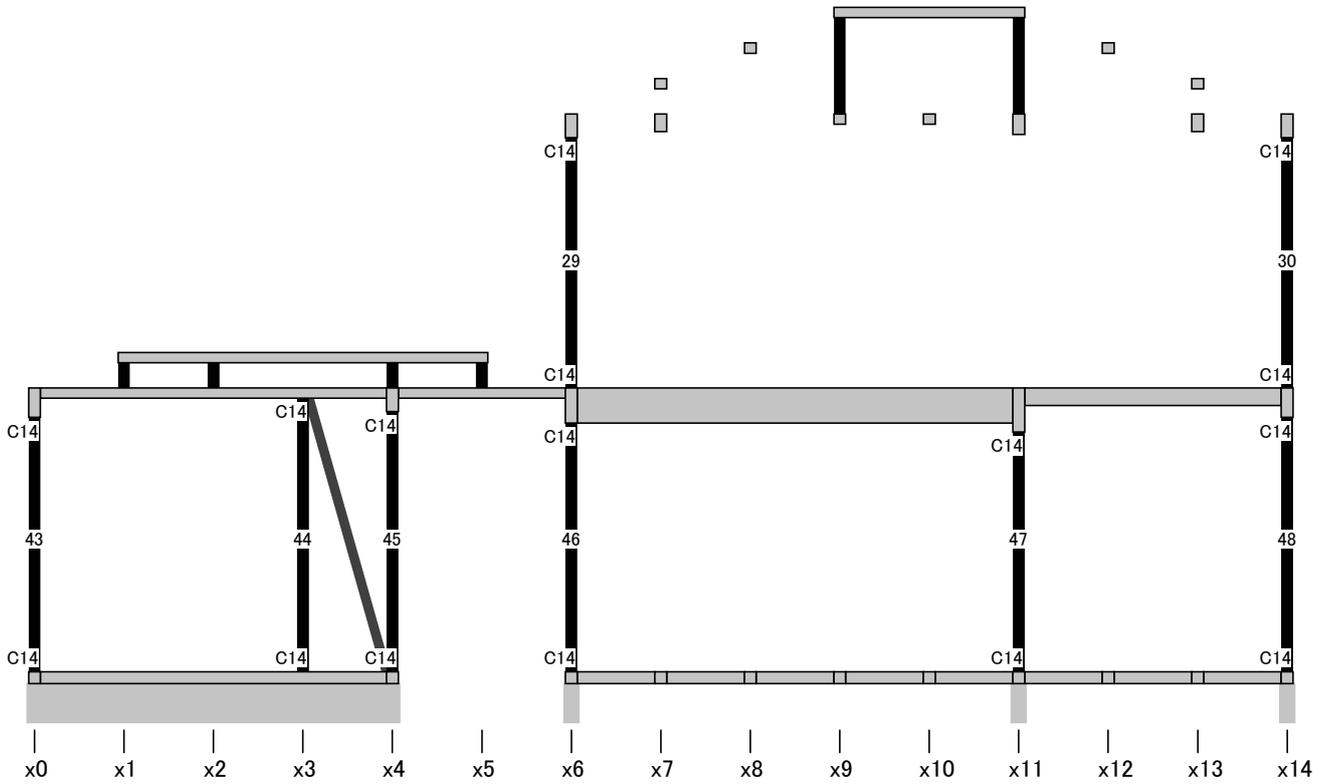
■y4通り



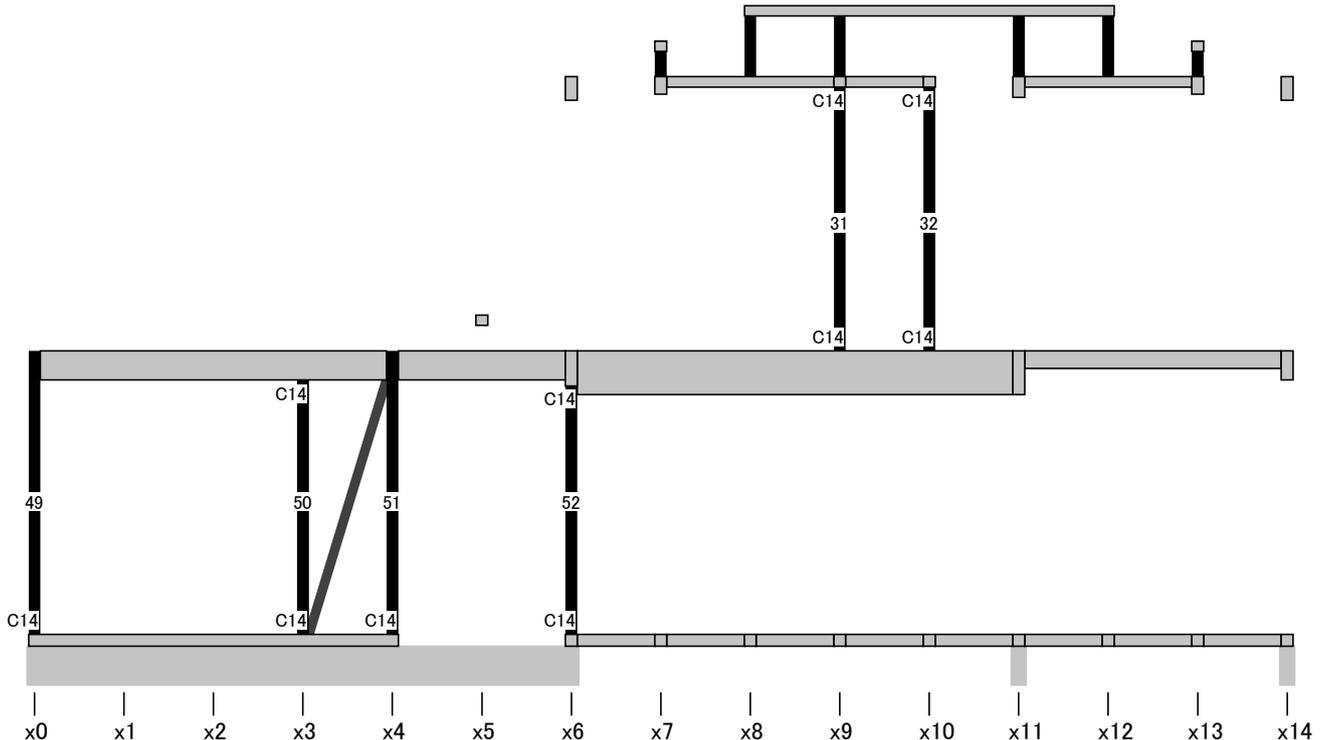
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■y3通り



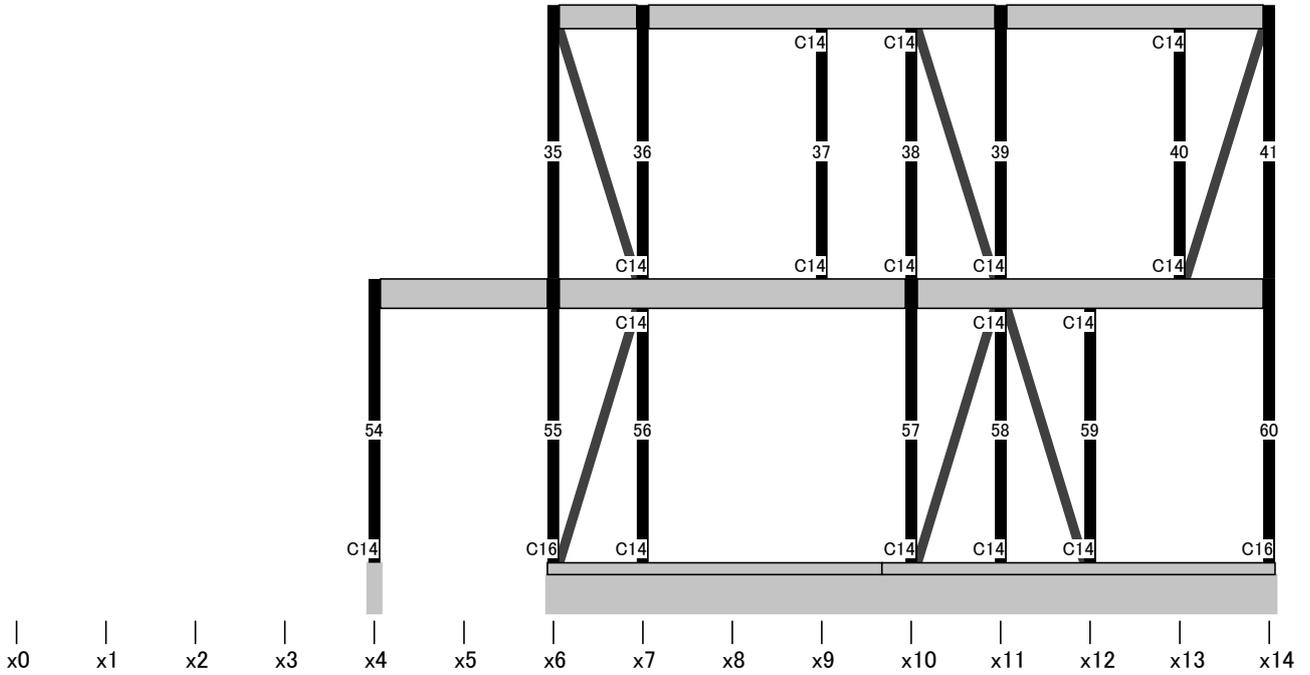
■y2通り



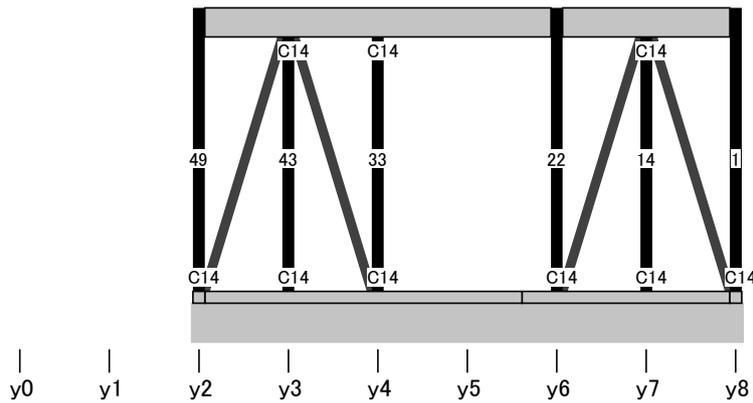
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■y0通り



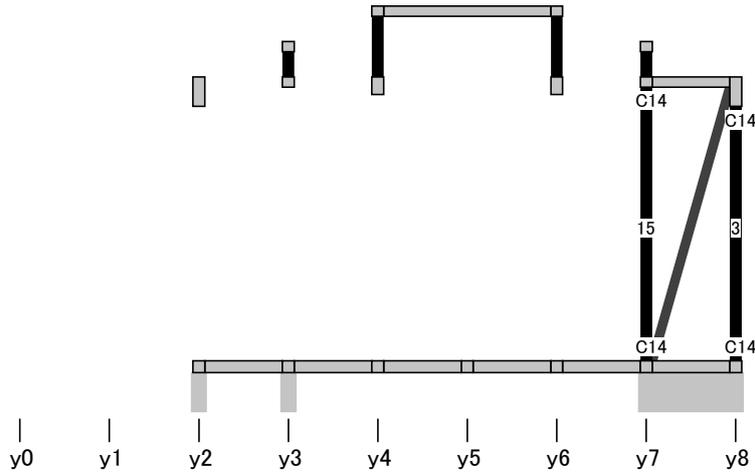
■x0通り



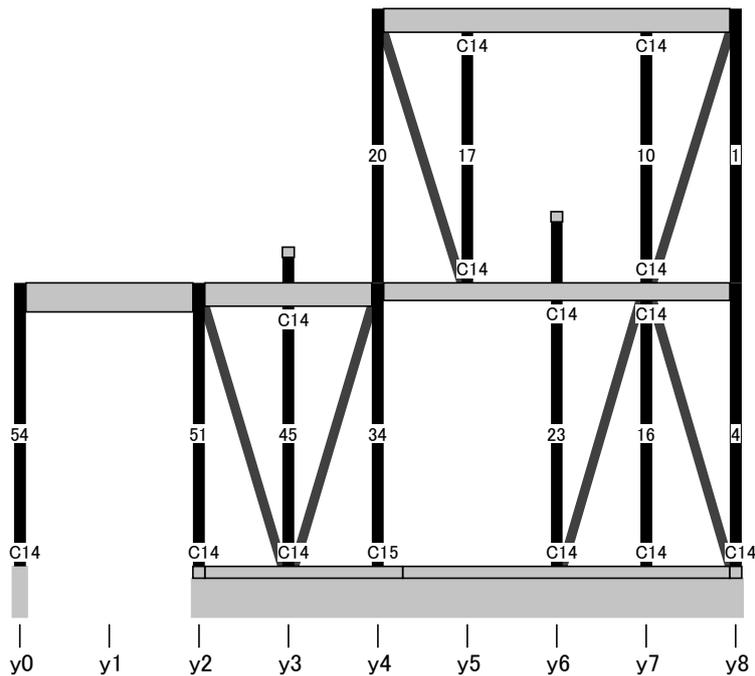
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■x2通り



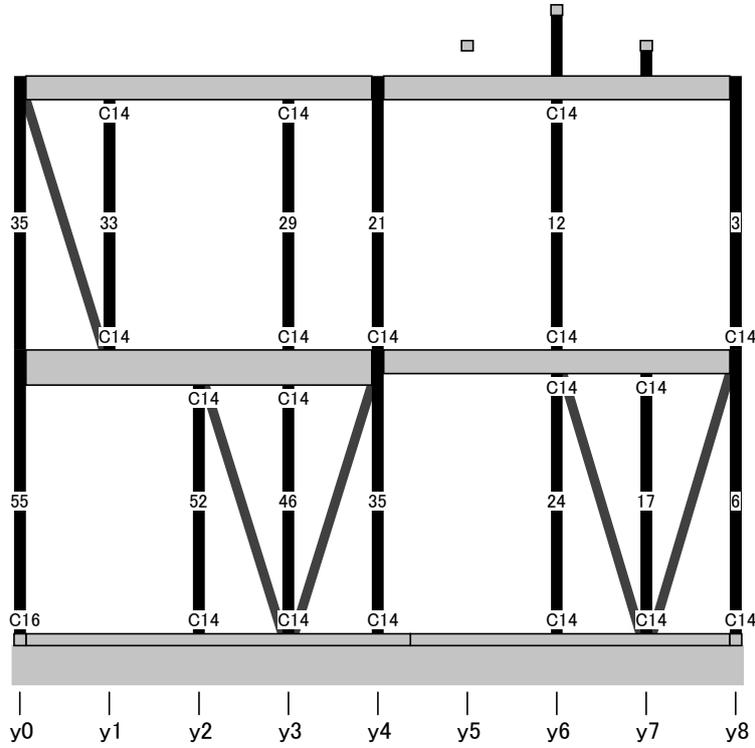
■x4通り



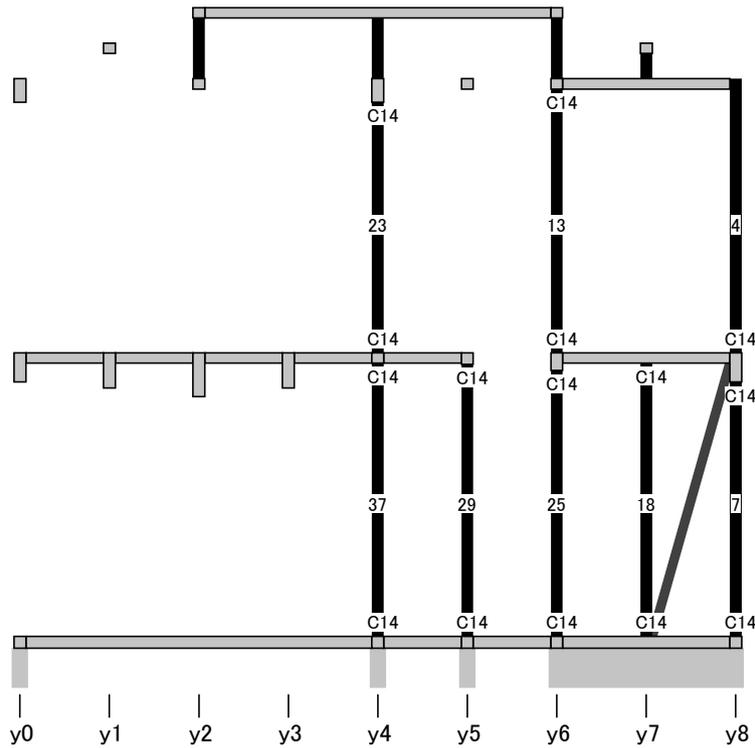
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■x6通り



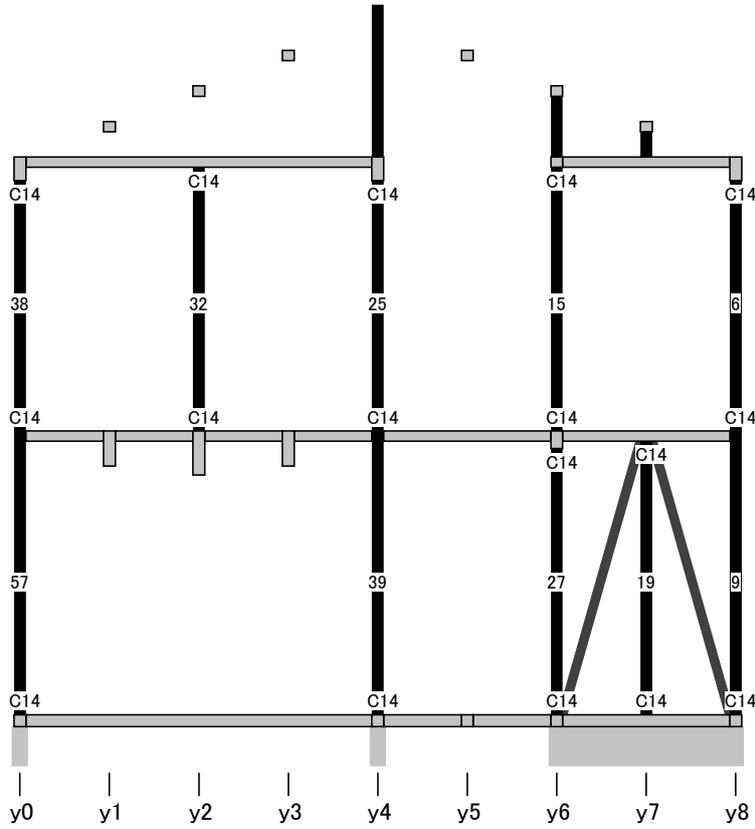
■x8通り



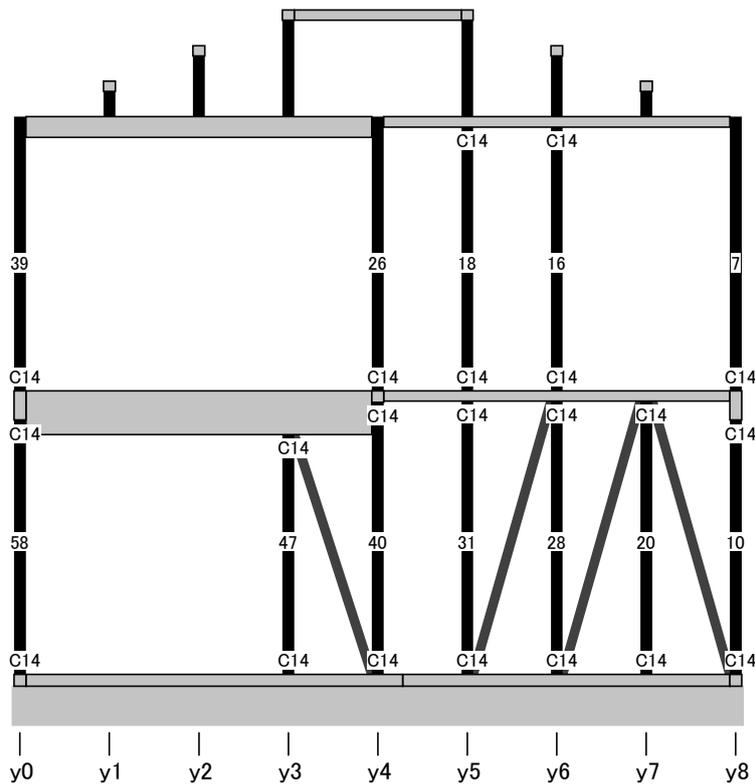
柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■x10通り



■x11通り



柱頭柱脚接合部 立面図

日付: 2023年07月31日 15:45:12
建物コード: 000004
建物名: 伏図次郎【2階】金物工法

■x14通り

